

2022年1月1日 No.160

全国一般労働組合全国協議会

編集発行人 渡辺啓二

東京都港区芝2-8-13 KITAハイム芝3F

TEL03-6779-8382 FAX03-6453-7857

URL:<http://www.nugw.jp>

E-mail:nugw@nugw.jp

全国一般全国協



コロナ禍第6波の危機、私たちの命と生活を守ろう！

忍び寄る新型オミクロン
ウィルス感染第6波拡大が懸念される中、22年新年を迎えた。2年余のコロナパンデミックによって暴かれたのは、新自由主義経済の進行が作り出した私たちを取り巻く社会状況の厳しい実態でした。格差と貧困の拡大、グローバル化した生産・消費の構造歪み、社会保障制度の後退などによって、全世界で労働者の命と生活が危機的な状況に置かれています。

改憲・軍拡の岸田政権を許さない労組の闘いを!!

昨年の衆議院選挙の結果、自公政権が過半数を超え、

改憲を狙う勢力は衆議院の3分の2を越えました。新たに誕生した岸田自公政権が提出した新年度予算案は、岸田政権誕生直後の21年度補正予算と同様に国家財政の破綻をかえりみないばかり政策に溢れています。

賃上げ資金として企業に金をばらまく政策は、一方で「労働移動促進」など雇用流動化政策を一層強化するなど従来の新自由主義政策の繰り返しで、非正規を含む賃上げが社会全体へ波及する結果にはなりません。

また防衛費は過去最大の5.4兆円、先の補正を合わせれば6兆円台となりGDP2%超え、相変わらずの米軍思いやり予算の大増加など軍事大国化が進みます。こうして国の借金・赤字国債は来年度には過去最大の残高1027兆円となりGDPの1.8倍を超えるという

先進国で最悪の事態・国家財政破綻の危機になっています。

賃上げ闘争の再建で、22春闘の活性化かちとろう！

全国一般労働組合全国協議会 中央執行委員長 平賀雄次郎

改憲を狙う勢力は衆議院の3分の2を越えました。新たに誕生した岸田自公政権が提出した新年度予算案は、岸田政権誕生直後の21年度補正予算と同様に国家財政の破綻をかえりみないばかり政策に溢れています。

全世界的なコロナ禍の影響で、大幅な金融緩和が進む中、円安が続きます。金融緩和であふれる巨大な資金は、格差拡大を背景にバブル経済を招いています。

労働時間短縮・時間管理の徹底を目指し闘う決意です。

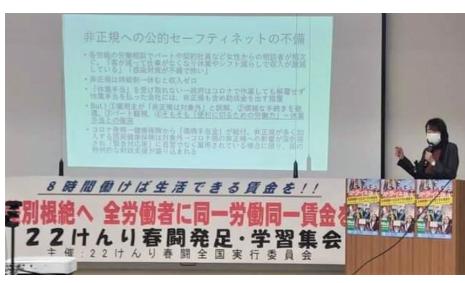
1月29日に22春闘各県代表会議を開催し、具体的取り組みを開始します。すでに全国一律最低賃金制を目指して最低賃金違反の摘発や3月に予定される最賃目安ランクの改定に向けて、労働局申し入れ・交渉などが、各地で始まっています。

22春闘の活性化に向けて全組合員の皆さん徹底した討論とご奮闘をお願いします。

過去の戦争についての責任の自覚の立った歴史認識・憲法の擁護が今こそ必要です。組合の積極的討論を開始しましょう。

1・29 各県代を成功させ、22春闘の勝利かちとろう!!

新年、いよいよ平和・人権・憲法擁護を貫いていこう!!



12/10 けんり春闘実行委発足総会

全国協は、来る22春闘で中小零細企業に働く労働者の切実な課題として、①全國一律最低賃金制の確立・最賃大幅アップと連動する大幅賃金引上げ、②同一労働・同一賃金と均等待遇確立で誰一人取り残さない雇用・労働条件確保、③リモート勤務やシフト労働など新たな課題に伴ういろいろの

スケジュール

- 1/21(金) 全労協2022旗開き 18:30～@東京・全水道会館
- 1/29(土) 全国協第27回各県代表者会議 10:30～@東京・芝浦リーブラ
- 2/4(金) 「汚染水流すな」全労協集会 18:30～@全水道会館4F
- 2/18(金) けんり春闘第1波・東京総行動 12:10～@東京・経団連前

基地建設に代表される東アジア・南西諸島への軍事強化や「台湾有事」による挑発発言が行われています。

過去の戦争についての責任の自覚の立った歴史認識・憲法の擁護が今こそ必要です。組合の積極的討論を開

22けんり春闘勝利で、闘いの裾野を広げよう!!

全国労働組合連絡協議会 議長 渡邊 洋



に過ぎず、賃上げを後押ししませんでした。その一方では法人税率の引き下げが続き、企業の内部留保が膨らみ続けています。今回の改革はむしろ格差を拡大させるものであり、財務省の中からも効果を疑問視する声が上がっています。

12月10日、与党は税制改革大綱の中で「賃上げ税制」なるものをぶち上げました。しかしこの税制は安倍政権が実施してきたものの修正が実施してきました。

また、安倍政権の「官製春闘」の過程で、日本の労働組合は総体として闘つ

生活・人権破壊を許さず、参院選勝利、反戦平和を推進しよう!!

中小労組政策ネットワーク 共同代表 関口 広行



明けましておめでとうございます。

「新たな資本主義」を掲げた岸田政権、新たなどとで、期待感を持たせていました。

とを忘れ存在感を失い、文字通りの官製春闘となってしまった。賃上げは時の政権が実現するものという空気が蔓延し、仲間作りと称して政権与党に接近する産別も現れています。

労働者の犠牲によって作られた内部留保を取り戻すには、不當に「分配」を拒否する経営に対する闘いがなければなりません。共にけんり春闘を通して闘いの裾野を広げ、22春闘に勝利しましょう。

改悪法案を許してはなりません。22春闘が始まります。企業の内部留保を吐き出させ、賃上げを勝ち取るために奮闘していきましょう。

そして今年は昨年の衆議院選挙に続き、参議院選挙の年です。改憲を許さない闘いとして重要な選挙であり、改憲勢力との攻防は正念場になります。次期通常国会では廃案に追い込んだ人管法改正法案が再び国会に提出されようとしています。日本で働く外国人労働者の人権や権利を守るためにもこの

中小・非正規労働者の先頭に立ち、22春闘と参院選の勝利を!!

全日本港湾労働組合 中央執行委員長 真島 勝重



新年あけましておめでとうございます。全港湾の組織を代表して、新年のご挨拶を申し上げます。先般、ネットで書かれていたカナダの有名大学の経済学での日本の貧困報告を紹介します。「日本の貧困者は多数存在するが、その貧困者のほとんどは、犯罪歴の家庭でもなく、移住者でもない。教育水準が世界的に決して低いわけでもない。決して怠惰ではなく、むしろ勤勉で労働時間も長く、個々の能力が低いわけでもない。世界的に前例を

春闘方針3本柱で、均等待遇実現・改憲阻止を闘う!!

全日本建設運輸連帯労働組合 中央執行委員長 菊池 進



謝申し上げます。

12月13日、1審で懲役8ヶ月と1年、それぞれ執行猶予3年という、28条および労働法無視の不当判決が下された加茂生コン事件の控訴審判決が出され、吉田組合員は無罪、安井執行委員は罰金刑のみ、という結果になりました。この勝利

見ない完全な政策失策による貧困層である」、このように、日本は世界でも上位に位置する格差社会が拡大し続け、非正規雇用労働者の増加は、政治の大失敗です。こんな時代だからこそ、労働組合が中小企業や非正規雇用労働者の先頭に立て、団結して闘い抜くことを確信し、まずは春闘勝利、そして参議院選挙に勝利し、良き年になるよう心より祈念いたします。一緒に頑張りましょう!

「支援する会」づくりの拡大に全力をあげてていきます。そして、今年は「連帯再建元年」として組織の立て直しと組織拡大、大幅賃上げを春闘方針の3本柱に掲げ、また、非正規や再雇用労働者への同一労働同一賃金の拡大・普及、戦争する国づくりのための改憲を阻止するたたかいに奮闘していく決意です。

全国一般全国協に結集される皆さんの引き続きのご支援・ご協力をよろしくお願いします。

生活・人権破壊を許さず、参院選勝利で改憲阻止を!!



フォーラム平和・人権・環境 共同代表 藤本 康成

どがあげられていた。昨年は総選挙の年だったが「金」という漢字からは、金権政治の匂いがブンブンする。「今だけ、ボクだけ、お金だけ」の政治が何年も続ってきた。そして、その疑惑を隠ぺいするために、賠償請求額1億700万円全額を私たちの税金で支払った。五輪で日本人選手が多数の金メダルを獲得したこと、また大谷翔平選手の活躍や藤井聰太棋士の四冠達成な

昨年の12月13日、今年の漢字(2021年)には「金」が選ばれたと日本漢字検定協会が発表した。「金」が選ばれた理由には、東京五輪で日本人選手が多数の金メダルを獲得したこと、また大谷翔平選手の活躍や藤井聰太棋士の四冠達成な

五輪で日本人選手が多数の金メダルを獲得したこと、また大谷翔平選手の活躍や藤井聰太棋士の四冠達成な

五輪で日本人選手が多数の金メダルを獲得したこと、また大谷翔平選手の活躍や藤井聰太棋士の四冠達成な

五輪で日本人選手が多数の金メダルを獲得したこと、また大谷翔平選手の活躍や藤井聰太棋士の四冠達成な

五輪で日本人選手が多数の金メダルを獲得したこと、また大谷翔平選手の活躍や藤井聰太棋士の四冠達成な

五輪で日本人選手が多数の金メダルを獲得したこと、また大谷翔平選手の活躍や藤井聰太棋士の四冠達成な

そのような世相だからこそ、明るい話題が欲しいことも分かる気がする。

岸田新首相は「拓」を選んだ。新しい時代を開拓する意欲を表すとしているが、

ちつとも新しい時代像が見えてこない。「嘘」っぽくないことを祈るばかりだ。

ちなみに河村たかし名古屋市長は「謝」をあげた。謝罪の謝かと思えば、感謝の謝らしい。悪いことばかりやつても選挙に勝たせてもらった感謝なのだろう。さて今年の言葉はどうなるか。

私たちの努力で、満足、満

盈、満点、満悦、満喫、満

腹の「満」だ!

越える運動に、22春闘で

着手しなくてはならない。

2020年10月、最高裁

**1/17 正規は賞与年5・5ヶ月、非正規はゼロ！
11時30分、キスティム本社申入れ行動へ！**

宮城合同労組 委員長 星野憲太郎

東京台東区に本社を持つNTT系列の警備会社キスティムの東北支店水沢営業所で10年間事務を担当してきた契約社員の高橋圭美（けいみ）さんが、決意を固め裁判闘争を開始します。高橋さんは、フルタイム・月給制で正社員と同じ職務で正社員と同様の待遇を受けていましたが、高橋さんははじめ契約社員や警備員

2/13-14 全国一律最低賃金制度を求める盛岡行動

共生ユニオンいわて 代表 岩見千丈

2月13・14日にかけて盛岡市で以下の企画をしましたので奮ってご参加ください。

目的：以下の2点の必要性を街頭で訴え、交流し、岩手労働局に申し入れる。
1. 全国一律最低賃金制度の確立。
2. パート有期労働法の、均等待遇及び同一労働同一賃金のしつかりした実現。

00 ころまでを予定。

翌14日の10時から、選抜メンバーで岩手労働局への申し入れ交渉。

岩手県の現在の地域最低賃金額は821円。

822 青森	889 北海道
822 秋田	821 岩手
822 山形	853 宮城
865 群馬	828 福島
956 埼玉	882 栃木
866 山梨	879 茨城
1041 東京	953 千葉

岩手県の最低賃金821円

内容で働いています。しかし、非正規ということだけで毎月の賃金が後から入社した正社員よりも低く抑えられています。さらに正社員にはボーナス夏冬合計5・5ヵ月くらいの水準で支給されきましたが、高橋さんははじめ契約社員や警備員



宮城合同労組定期大会での高橋さん（左端）

同一労働同一賃金を実行しよう!!

ました。このじたさんは、何千万もの非正規労働者のためにもパート有期雇用労働法8~9条を無駄にできませんと決意しました。昨年に於ける最高裁の非正規差別判決を許さないためにも、パート有期労働法を根拠に

働法8~9条を無駄にできないと決意しました。昨年に於ける最高裁の非正規差別判決を許さないためにも、パート有期労働法を根拠に

12/25

“変えよう！最低賃金”

やよいとユニオン

2022春闘は、非正規雇用労働者の格差をのり越える闘いと、最低賃金の抜本的改革の闘い、職場の労働条件を見直す闘いを軸に

だけではなく職場の様々な労働条件や労働安全衛生の課題が浮き彫りになっていました。

コロナ禍の2年間で賃金だけでなく職場の様々な労働条件や労働安全衛生の課題が浮き彫りになっています。

就業規則や職場慣習を見直し、非正規雇用労働者の不合理な格差を追及し、最低賃金の大引き上げを

賃金労働者の賃金底上げを勝ち取りましょう。

最低賃金では、今春にはランク制見直しが行われます。これまでの4ランク制の微調整ではなく、地方格差の乗り越えるためにも全

国一律化を求めて、各地か

闘います。1月17日本社に對して申し入れ行動を行いますのでなにとぞご支援ください。





12・15

政府交渉の報告

ゼネラルユニオン

12月15日、衆議院第一議員会館で、教育係労働組合連絡会議と厚生労働省、文部科学省との間の交渉が行なわれた。

教育係労働組合連絡会議は、全国一般傘下の東京南部、ゼネラルユニオン、福岡ゼネラルユニオンに加えて札幌中小労連・地域労働組合によって構成されている。

今回の議題は3項目、①は精神的に参っていたはずでした。和解を期に支援いただきたい旨さんと一緒に闘いたど思っていますので宜しくお願ひ致します。

飯館村焼却炉被ばく労働裁判で和解が成立。

長年の「ご支援ありがとうございました。」

宮城合同労組

(裁判原告) 中澤倫史

弁護士に相談し、退職、労働審判、訴訟になった次第です。

(和解内容)

1 被告は、原告に対し、解決金を支払う。*金額は口外禁止

2 被告は、放射性物質・ダイオキシン等労働者の健康を害する可能性がある物質を取り扱う作業を労働者に行わせる場合には、今後とも、より一層法令等を遵守し、当該物質を適正に管

この度は皆様の支援を頂き、和解成立することができ本当にありがとうございました。

私は日揮が運転管理する福島県飯館村蕨平焼却施設で2年4ヶ月働きましたが、新規入場教育、オリエンテーションとは違う、軽装備で放射能が凝縮した灰を浴びる危険な作業の連續に驚き、

争点となつたのは半面マスクでいいのか全面マスクが必要か、施設内の灰漏れの有無と放射線量など様々でしたら、被告はほとんど非を認めず進行していきました。正直支援して頂いた皆様の力がなければ私

精神的に参っていたはずでした。

和解を期に支援いただきたい旨さんと一緒に闘いたど思っていますので宜しくお願ひ致します。

理し、すべての人を尊重し、安全を優先することを約束する。

全国一般東京労組の闘い

東京労組は、秋年末闘争の取組として、11月26日、GemmaJapan(ジェンマ・ジャパン)本社での社前集会を行った。現在、GemmaJapanの結集をもって闘い抜いたことを背景に、争議は、11月12日にGemmaJapan闘争支える会を正式発足し、本社への出向命令取消という裁判和解を実現したことを背景に、争議の全面解決を目指し、自主交渉や労働委員会の斡旋和解を全力で闘いついている。

また、偽装倒産=組合員全員の解雇の動きを強めている東伸社経営に対しても、東伸社グループ分会の仲間は、大衆的な運動を強化しながら雇用と生活を守る闘いを強化している。こうした中で、去る12月3日、1



記者会見の後福島県庁前

有期雇用契約から無期雇用契約への転換の推進、②改正高齢者雇用安定法の活用、③ALT(外国语指導助手)の現状と未来、についてであつた。

①について、組合側からは、無期転換を契約当初から不可能にしている「更新上限設定」について無期転換の趣旨に反するものだと指摘を行った。厚労省からは、これについて内部の検討会で議論が行なわれていて報告された。また、大学において「10年特例」

が不適切に行なわれている懼れがある具体的な報告事例について、文科省からは早急に対応することが約束された。

②について、組合から「70歳までの就業確保への努力義務」という法改正の趣旨が実効性を發揮するような取り組みを要望した。

③について、組合側から、ALTが直面している深刻な問題(生活圏を脅かすレベルの劣悪な札幌派遣ALTの実態、福岡市での外部組合と政府との間で連絡を継続することが確認された。

いずれの課題についても、組合と政府との間で連絡を持ち帰つて検討する旨が表明された。



ユニオン・合同労組連絡会 第6回全国交流集会

私の出版系の活動も職場現場の力を結集することを大事にしてきましたが、経営は、昨年3月末多額の未払い賃金を残したまま倒産させました。倒産の責任は一に経営にあります。会社商業界なき今、その親会社商業界会館に求めるしかありません。同時に、私たちにも、同業種の労働組合の経験や知識を借りながら、話し合いを通じて職場の団結を強化する努力が欠けています。

特別講演 「21世紀パンデミックと労働運動」

合同労組の支援で
倒産争議を闘う

兵頭先生の特別講演をお聞きした感想を述べさせていただきます。

「日本の労働組合を強化するためには、欧米のよくな横断的組織にし、横断的な労使関係を形成すべき」と

放射能汚染水を海に流すな！ 2／4全労協集会を成功させよう！

産業別労働組合も「職場組織の力」が基礎になつていてことを指摘。職場単位で多数派を基盤とする組合組織の形成再生が大事であり、アメリカの社会運動ユニオニズム(SMU)潮流も同じとのこと。私は得心しました。

「22年3月までに放出のための工事開始」は許さない！

東京電力と政府は、2023年春から、福島第一原発内で保管されている大量の放射線汚染水を太平洋に投棄しようとしている。既に、22年11月27日から、漁業権の及ばない沖合1キロの放出予定地点までの、海底トンネル建設準備が始まつた。

多核種除去設備(ALPS)等で除去できないトリチウムと、炭素14・ストロンチウムなどを含んだ汚染水

を放出するのだ。核燃料デブリを冷却するための高濃度の放射性物質汚染水は、絶えず生じている。そして、雨水や未だにコントロールできていない地下水の原子炉建屋への流入で、更に増加し続けている。汚染水のタンク貯蔵量は、21年12月2日現在で128・5トンを超えた。これらを「国の基準？」の40分の1以下に薄めて、30年以上・毎日5500トンの放出を続けるという。

「22年3月までに放出のための工事開始」は許さない！

東京電力と政府は、2023年春から、福島第一原発内で保管されている大量の放射線汚染水を太平洋に投棄しようとしている。既に、22年11月27日から、漁業権の及ばない沖合1キロの放出予定地点までの、海底トンネル建設準備が始まつた。

多核種除去設備(ALPS)

等で除去できないトリチウムと、炭素14・ストロン

チウムなどを含んだ汚染水

を放出するのだ。核燃料デブリを冷却するための高濃度の放射性物質汚染水は、絶えず生じている。そして、雨水や未だにコントロールできていない地下水の原子炉建屋への流入で、更に増加し続けている。汚染水のタンク貯蔵量は、21年12月2日現在で128・5トンを超えた。これらを「国の基準？」の40分の1以下に薄めて、30年以上・毎日5500トンの放出を続けるという。

「22年3月までに放出のための工事開始」は許さない！

東京電力と政府は、2023年春から、福島第一原

発内で保管されている大量

の放射線汚染水を太平洋に

投棄しようとしている。既

に、22年11月27日から、漁

業権の及ばない沖合1キロ

の放出予定地點までの、海

底トンネル建設準備が始まつた。

多核種除去設備(ALPS)

等で除去できないトリチ

ウムと、炭素14・ストロン

チウムなどを含んだ汚染水

を放出するのだ。核燃料デ

ブリを冷却するための高濃

度の放射性物質汚染水は、

絶えず生じている。そして、

雨水や未だにコントロール

できていない地下水の原子

炉建屋への流入で、更に

増加し続けている。汚染水

のタンク貯蔵量は、21年

12月2日現在で128・

5トンを超えた。これらを

「国の基準？」の40分の1

以下に薄めて、30年以上・

毎日5500トンの放出を

続けるという。

「22年3月までに放出のための工事開始」は許さない！

東京電力と政府は、2023年春から、福島第一原

発内で保管されている大量

の放射線汚染水を太平洋に

投棄しようとしている。既

に、22年11月27日から、漁

業権の及ばない沖合1キロ

の放出予定地點までの、海

底トンネル建設準備が始まつた。

多核種除去設備(ALPS)

等で除去できないトリチ

ウムと、炭素14・ストロン

チウムなどを含んだ汚染水

を放出するのだ。核燃料デ

ブリを冷却するための高濃

度の放射性物質汚染水は、

絶えず生じている。そして、

雨水や未だにコントロール

できていない地下水の原子

炉建屋への流入で、更に

増加し続けている。汚染水

のタンク貯蔵量は、21年

12月2日現在で128・

5トンを超えた。これらを

「国の基準？」の40分の1

以下に薄めて、30年以上・

毎日5500トンの放出を

続けるという。

「22年3月までに放出のための工事開始」は許さない！

東京電力と政府は、2023年春から、福島第一原

発内で保管されている大量

の放射線汚染水を太平洋に

投棄しようとしている。既

に、22年11月27日から、漁

業権の及ばない沖合1キロ

の放出予定地點までの、海

底トンネル建設準備が始まつた。

多核種除去設備(ALPS)

等で除去できないトリチ

ウムと、炭素14・ストロン

チウムなどを含んだ汚染水

を放出するのだ。核燃料デ

ブリを冷却するための高濃

度の放射性物質汚染水は、

絶えず生じている。そして、

雨水や未だにコントロール

できていない地下水の原子

炉建屋への流入で、更に

増加し続けている。汚染水

のタンク貯蔵量は、21年

12月2日現在で128・

5トンを超えた。これらを

「国の基準？」の40分の1

以下に薄めて、30年以上・

毎日5500トンの放出を

続けるという。

「22年3月までに放出のための工事開始」は許さない！

東京電力と政府は、2023年春から、福島第一原

発内で保管されている大量

の放射線汚染水を太平洋に

投棄しようとしている。既

に、22年11月27日から、漁

業権の及ばない沖合1キロ

の放出予定地點までの、海

底トンネル建設準備が始まつた。

多核種除去設備(ALPS)

等で除去できないトリチ

ウムと、炭素14・ストロン

チウムなどを含んだ汚染水

を放出するのだ。核燃料デ

ブリを冷却するための高濃

度の放射性物質汚染水は、

絶えず生じている。そして、

雨水や未だにコントロール

できていない地下水の原子

炉建屋への流入で、更に

増加し続けている。汚染水

のタンク貯蔵量は、21年

12月2日現在で128・

5トンを超えた。これらを

「国の基準？」の40分の1

以下に薄めて、30年以上・

毎日5500トンの放出を

続けるという。

「22年3月までに放出のための工事開始」は許さない！

東京電力と政府は、2023年春から、福島第一原

発内で保管されている大量

の放射線汚染水を太平洋に

投棄しようとしている。既

に、22年11月27日から、漁

業権の及ばない沖合1キロ

の放出予定地點までの、海

底トンネル建設準備が始まつた。

多核種除去設備(ALPS)

等で除去できないトリチ

ウムと、炭素14・ストロン

チウムなどを含んだ汚染水

を放出するのだ。核燃料デ

ブリを冷却するための高濃

度の放射性物質汚染水は、

絶えず生じている。そして、

雨水や未だにコントロール

できていない地下水の原子

炉建屋への流入で、更に

増加し続けている。汚染水

のタンク貯蔵量は、21年

12月2日現在で128・

5トンを超えた。これらを

「国の基準？」の40分の1

以下に薄めて、30年以上・

毎日5500トンの放出を

続けるという。

「22年3月までに放出のための工事開始」は許さない！

東京電力と政府は、2023年春から、福島第一原

発内で保管されている大量

の放射線汚染水を太平洋に

投棄しようとしている。既

に、22年11月27日から、漁

業権の及ばない沖合1キロ

の放出予定地點までの、海

底トンネル建設準備が始まつた。

多核種除去設備(ALPS)

等で除去できないトリチ

ウムと、炭素14・ストロン

チウムなどを含んだ汚染水

を放出するのだ。核燃料デ

ブリを冷却するための高濃

度の放射性物質汚染水は、

絶えず生じている。そして、

雨水や未だにコントロール

できていない地下水の原子

炉建屋への流入で、更に

増加し続けている。汚染水

のタンク貯蔵量は、21年

12月2日現在で128・

5トンを超えた。これらを

「国の基準？」の40分の1

以下に薄めて、30年以上・

毎日5500トンの放出を

続けるという。

「22年3月までに放出のための工事開始」は許さない！

東京電力と政府は、2023年春から、福島第一原

発内で保管されている大量

の放射線汚染水を太平洋に

投棄しようとしている。既

に、22年11月27日から、漁

業権の及ばない沖合1キロ

の放出予定地點までの、海

底トンネル建設準備が始まつた。

多核種除去設備(ALPS)

等で除去できないトリチ

ウムと、炭素14・ストロン

チウムなどを含んだ汚染水

を放出するのだ。核燃料デ

ブリを冷却するための高濃

度の放射性物質汚染水は、

絶えず生じている。そして、

雨水や未だにコントロール

できていない地下水の原子

炉建屋への流入で、更に

増加し続けている。汚染水

のタンク貯蔵量は、21年

12月2日現在で128・

5トンを超えた。これらを

「国の基準？」の40分の1

以下に薄めて、30年以上・

毎日5500トンの放出を

続けるという。

「22年3月までに放出のための工事開始」は許さない！

東京電力と政府は、2023年春から、福島第一原

発内で保管されている大量

の放射線汚染水を太平洋に

投棄しようとしている。既

に、22年11月27日から、漁

業権の及ばない沖合1キロ

の放出予定地點までの、海

底トンネル建設準備が始まつた。

多核種除去設備(ALPS)

等で除去できないトリチ

ウムと、炭素14・ストロン

チウムなどを含んだ汚染水

を放出するのだ。核燃料デ

ブリを冷却するための高濃

度の放射性物質汚染水は、

絶えず生じている。そして、

雨水や未だにコントロール

できていない地下水の原子